

騒音規制法・振動規制法にかかる

特定施設関連届出の手引き

目次

1. 騒音規制法・振動規制法の規制基準.....	2
(1) 騒音規制法の区域ごとの規制.....	2
(2) 振動規制法の区域ごとの規制.....	2
2. 特定施設一覧	3
(1) 騒音規制法にかかる特定施設一覧.....	3
(2) 振動規制法にかかる特定施設一覧.....	4
3. 届出書の種類【別紙様式参照】	4
(1) 騒音規制法・振動規制法を共通化したもの.....	4
(2) 騒音規制法・振動規制法の各法により届が必要なもの（受理書交付対象）	4
4. 各届出書の内容【別紙様式参照】	5
(1) 氏名等変更届出書…様式第6	5
(2) 施設全廃届出書…様式第7	6
(3) 承継届出書…様式第8	7
(4) 特定施設設置届出書…様式第1	8
(5) 特定施設設置届出書（経過措置に関わるもの）…様式第2	11
(6) 特定施設の数等の変更届出書…様式第3	13
(7) 騒音（振動）の防止の方法の変更届出書…様式第4	15
(8) 添付書類について.....	18

届出先・お問合せ先：長浜市環境保全課

〒526-8501 長浜市八幡東町632番地

TEL 0749-65-6513

FAX 0749-64-1437

Mail kankyou@city.nagahama.lg.jp

※様式は長浜市役所ホームページからダウンロードできます。

「市ホームページ」→「事業者向け」→「環境保全」→「公害対策・届出書類」→
「騒音規制法・振動規制法届出書類」

1. 騒音規制法・振動規制法の規制基準

(1) 騒音規制法の区域ごとの規制

	午前6時～ 午前8時	午前8時～ 午後6時	午後6時～ 午後10時	午後10時～ 午前6時
第1種区域	45 dB	50 dB	45 dB	40 dB
第2種区域	50 dB	55 dB	50 dB	45 dB
第3種区域	60 dB	65 dB	65 dB	55 dB
第4種区域	65 dB	70 dB	70 dB	60 dB

【騒音規制法に基づき平成19年4月1日付け長浜市告示第97号にて規定】

※特定工場は敷地境界において上表の規制値を厳守ください。

※病院・学校・保育所・図書館・特別養護老人ホーム等の周辺50m以内については、各表の記載された値より5dB減じます。

(2) 振動規制法の区域ごとの規制

	午前8時～午後7時	午後7時～午前8時
第1種区域	60 dB	55 dB
第2種区域（Ⅰ）	65 dB	60 dB
第2種区域（Ⅱ）	70 dB	65 dB

【振動規制法に基づき平成19年4月1日付け長浜市告示第101号にて規定】

※特定工場は敷地境界において上表の規制値を厳守ください。

※病院・学校・保育所・図書館・特別養護老人ホーム等の周辺50m以内については、各表の記載された値より5dB減じます。

☆各規制基準の区域については、「地図情報サービスながはまっぷ」をご確認ください。
(<https://www.sonicweb-asp.jp/nagahama2>)

2. 特定施設一覧

(1) 騒音規制法にかかる特定施設一覧

施設名		規模		
		原動機出力	能力	
1. 金属加工機械	イ 圧延機械	施設の出力合計が 22.5kW 以上		
	ロ 製管機械	すべて		
	ハ ベンディングマシン（ロール式のものに限る）	3.75kW 以上		
	ニ 液圧プレス（矯正プレスを除く）	すべて		
	ホ 機械プレス		呼び加圧能力 294kN 以上	
	ヘ せん断機	3.75kW 以上		
	ト 鍛造機	すべて		
	チ ワイヤフォーミングマシン	すべて		
	リ プラスト（タンブラスト以外のもの であって、密閉式のものを除く）	すべて		
	ヌ タンブラー	すべて		
	ル 切断機（といしを用いるものに限る）	すべて		
2. 空気圧縮機及び送風機（冷凍機除く）		7.5kW 以上		
3. 土石用 又は鉱物 用の施設	破碎機、摩砕機、ふるい及び分級機	7.5kW 以上		
4. 織機（原動機を用いるものに限る）		すべて		
5. 建設用 資材製造 機械	イ コンクリートプラント（気ほうコン クリートプラントを除く）		混練機の混練容量 0.45m ³ 以上	
	ロ アスファルトプラント		混練機の混練重量 200kg 以上	
6. 穀物用製粉機（ロール式のものに限る）		7.5kW 以上		
7. 木材加 工機械	イ ドラムバーカー	すべて		
	ロ チッパー	2.25kW 以上		
	ハ 碎木機	すべて		
	ニ 帯のこ盤	製材用	15kW 以上	
		木工用	2.25kW 以上	
	ホ 丸のこ盤	製材用	15kW 以上	
木工用		2.25kW 以上		
ヘ かな盤	2.25kW 以上			
8. 抄紙機		すべて		
9. 印刷機械（原動機を用いるものに限る）		すべて		
10. 合成樹脂用射出成形機		すべて		
11. 鋳造型機（ジョルト式のものに限る）		すべて		

(2) 振動規制法にかかる特定施設一覧

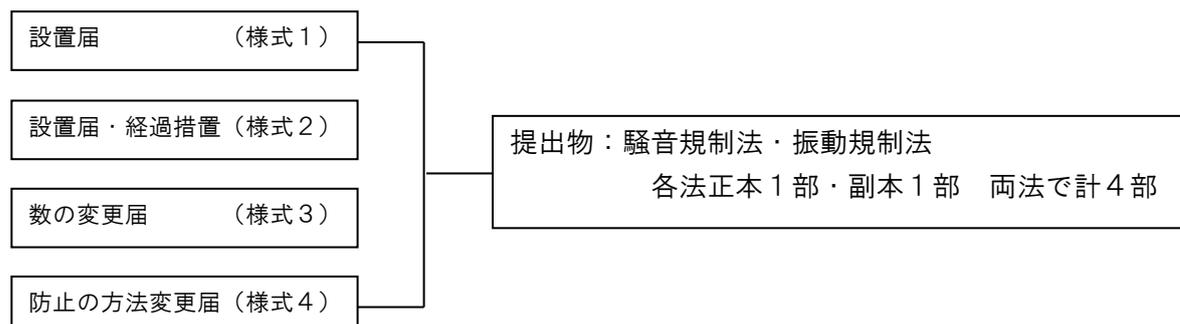
施設名		規模
		原動機出力
1. 金属加工機械	イ 液圧プレス（矯正プレスを除く）	すべて
	ロ 機械プレス	すべて
	ハ せん断機	1kW 以上
	ニ 鍛造機	すべて
	ホ ワイヤーフォーミングマシン	37.5kW 以上
2. 圧縮機		7.5kW 以上
3. 土石用又は鉱物用の施設	破碎機，摩砕機，ふるい及び分級機	7.5kW 以上
4. 織機（原動機を用いるものに限る）		すべて
5. コンクリートブロックマシン並びにコンクリート管製造機械及びコンクリート柱製造機械	コンクリートブロックマシン	2.95kW 以上
	コンクリート管製造機械及びコンクリート柱製造機械	10kW 以上
6. 木材加工機械	イ ドラムバーカー	すべて
	ロ チッパー	2,2kW 以上
7. 印刷機械		2,2kW 以上
8. ゴム練用又は合成樹脂練用のロール機（カレンダーロール機以外のもの）		30kW 以上
9. 合成樹脂用射出成形機		すべて
10. 鋳造型機（ジョルト式のものに限る）		すべて

3. 届出書の種類【別紙様式参照】

(1) 騒音規制法・振動規制法を共通化したもの



(2) 騒音規制法・振動規制法の各法により届が必要なもの（受理書交付対象）



4. 各届出書の内容【別紙様式参照】

(1) 氏名等変更届出書…様式第6

法人・工場・事業場の代表者および所在地・名称が変更になったときに提出していただきます。変更のあった日から30日以内に届け出てください。

様式は、騒音規制法条・振動規制法が共通様式になっていますので、不要な法律の届出には、騒音規制法条・振動規制法のように二重取消線、または消去をしてください。

提出物：正本1部・副本1部 計2部

添付書類：不要

様式第6

記入例

氏名等変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

氏名(名称、住所、所在地)に変更があつたので、騒音規制法第10条・振動規制法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前	長浜 太郎	※ 整理番号	
	変更後	長浜 次郎	※ 受理年月日	年 月 日
変更年月日		令和〇〇年〇月〇日	※ 施設番号	
変更の理由		人事異動のため	※ 備考	

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

(2) 施設全廃届出書…様式第7

特定施設の全ての仕様の廃止により規制を受けなくなったときに提出していただきます。変更のあった日から30日以内に届け出てください。

様式は、騒音規制法条・振動規制法が共通様式になっていますので、不要な法律の届出には、騒音規制法条・~~振動規制法~~のように二重取消線、または消去をしてください。

提出物：正本1部・副本1部 計2部

添付書類：不要

様式第7

記入例

特定施設使用全廃届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

特定施設のすべての使用を廃止したので、騒音規制法第10条・振動規制法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地	※ 受理年月日	年 月 日
使用全廃の年月日	令和〇〇年〇月〇日	※ 施設番号	
使用全廃の理由	工場移転のため	※ 備考	

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

(3) 承継届出書…様式第8

特定施設の全てを譲り受け、借り受けしたときに提出していただきます。

承継のあった日から30日以内に届け出てください。

様式は、騒音規制法条・振動規制法が共通様式になっていますので、不要な法律の届出には、騒音規制法条・振動規制法のように二重取消線、または消去をしてください。

提出物：正本1部・副本1部 計2部

添付書類：不要

様式第8

記入例

承 継 届 出 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

氏名又は名称及び住所並びに法
届出者 人にあつてはその代表者の氏名

特定施設に係る届出者の地位を継承したので、騒音規制法第11条第3項・振動規制法第11条第3項の規定により、次のとおり届けます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地	※ 受理年月日	年 月 日
承継の年月日	令和〇〇年〇月〇日	※ 施設番号	
被承継者	氏名又は名称	長浜 太郎	※ 備考
	住所	長浜市〇〇町〇番地	
承継の原因	合併のため		

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

(4) 特定施設設置届出書…様式第1

①提出物（騒音規制法・振動規制法 別々に届けが必要）

各正本・副本2部 計4部（騒音：正副 計2部 振動：正副 計2部）
添付書類【騒音（振動）の防止の方法、工場見取図、特定施設配置図、
特定施設のカタログ】

②添付書類

特定施設から発生する騒音・振動レベルが、工場敷地境界で環境基準を満たしているかを審査する上で大変重要な書類となりますので、忘れずに添付してください。

「騒音（振動）の防止の方法」

別紙の様式により記入してください。様式は任意に変更していただいても構いません。

「工場・事業場の附近の見取図」

縮尺等の指定はありません。敷地境界がわかる図を準備してください。

「特定施設の配置図」

工場・事業場内の配置がわかるもので、敷地境界を明示してください。

「特定施設の構造等がわかる資料（カタログ等）」

定格出力や能力がわかるものを準備してください。どうしても不明な場合は製造者名・製品名等をお知らせください。

③届出の必要な場合

これまで特定施設のない状態で、今回初めて特定施設を設置しようとする場合。この届出書は初回限りです。これ以降に特定施設を追加する場合は、「特定施設の種類ごとの数変更届出書（様式第3）」により手続きを行なっていただきます。

④届出日

設置（工事）しようとする30日前までに届け出てください。

記入例

特 定 施 設 設 置 届 出 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

住所
氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名
届出者
氏名

騒音規制法第6条第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜	※ 整理番号			
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地	※ 受理年月日	年 月 日		
工場又は事業場の事業内容	金属加工	※ 施設番号			
常時使用する従業員数	〇〇人	※ 審査結果			
騒音の防止の方法	別紙のとおり	※ 備考			
特定施設の種類の	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
2. 空気圧縮機及び送風機	〇〇型	7.5kw	1	9:00	17:00

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】騒音の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

別紙

騒音の防止の方法

①特定施設の種類の	②発生源での騒音レベル	距離減衰	防音装置等による減衰	
		③敷地境界までの距離	④建物の壁の種類・厚さ	⑤防音装置等の種類
2. 空気圧縮機及び送風機	1 m 55 dB	30 m	種類：石膏ボード 厚さ：10 mm	防音カバーの設置
	m dB	m	種類： 厚さ： mm	
	m dB	m	種類： 厚さ： mm	

注)

- ①特定施設の種類の
設置する特定施設ごとに記入してください。
- ②発生源での騒音レベル
カタログ、測定結果等から記入してください。不明の場合は空欄で結構です。
- ③敷地境界までの距離
設置する特定施設から一番近い敷地境界までの距離を記入してください。
- ④建物の壁の種類・厚さ
工場、事業場の外壁の種類とその厚さを記入してください。
例) コンクリート、モルタル、スレート、トタン、ALC、合成樹脂板、石膏ボード等
- ⑤防音装置等の種類
防音装置等を設置する場合に記入してください。設置しない場合は空欄で結構です。
例) 消音器・防音カバーの設置、防音室の設置、遮音塀の設置等

記入例

様式第1

別紙

特定施設設置届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

住所
氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名
届出者
氏名

振動の防止の方法

振動規制法第6条第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜	※ 整理番号			
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地	※ 受理年月日	年 月 日		
工場又は事業場の事業内容	金属加工	※ 施設番号			
常時使用する従業員数	〇〇人	※ 審査結果			
振動の防止の方法	別紙のとおり。	※ 備考			
特定施設の種類の	型式	公称力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
2. 圧縮機	〇〇型	7.5kw	1	9:00	17:00

備考 1 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
 2 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
 3 ※印の欄には、記載しないこと。
 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】振動の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料(カタログ等)

①特定施設の種類の	②発生源での振動レベル	距離減衰	防振装置等による減衰
		③敷地境界までの距離	④防振装置等の種類の
2. 圧縮機	1 55 m dB	30 m	防振ゴムの取付
	m dB	m	

注)

- ①特定施設の種類の
設置する特定施設ごとに記入してください。
- ②発生源での振動レベル
カタログ、測定結果等から記入してください。不明の場合は空欄で結構です。
- ③敷地境界までの距離
設置する特定施設から一番近い敷地境界までの距離を記入してください。
- ④防振装置等の種類の
防振装置等を設置する場合に記入してください。設置しない場合は空欄で結構です。
例) 防振ゴムの取付、低振動機種の使用、基礎工事等

(5) 特定施設設置届出書（経過措置に関わるもの）…様式第2

①提出物（騒音規制法・振動規制法 別々に届けが必要）

各正本・副本2部 計4部（騒音：正副 計2部 振動：正副 計2部）
添付書類【騒音（振動）の防止の方法、工場見取図、特定施設配置図、
特定施設のカタログ】

②添付書類

（4）に同じです。

③届出の必要な場合

- ア) 騒音・振動の規制基準が新たに指定地域となった場合、区域の変更があった場合にすでに特定施設を設置していた場合
- イ) 新たに指定された特定施設をそれ以前から設置していた場合
この届出書は初回限りです。これ以降に特定施設を追加する場合は、「特定施設の種類ごとの数変更届出書（様式第3）」により手続きを行なっていただきます。

④届出日

- ア) 市告示の日から30日以内（規制基準の設定・変更は市の事務）
- イ) 官報の日から30日以内（特定施設の指定は国の事務）

様式第1と様式第2の相違

様式第1：規制基準のある地域で初めて特定施設を設置する場合

様式第2：特定施設を設置していたが、規制基準が設定されたり区域変更があった場合

様式第1：指定のある特定施設を設置する場合

様式第2：指定のない特定施設を設置していたが、新たに国の指定があり、特定施設として規制を受けることになった場合

記入例

特定施設使用届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに
法人にあつてはその代表者の氏名

騒音規制法第7条第1項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜		※ 整理番号		
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地		※ 受理年月日	年 月 日	
工場又は事業場の事業内容	金属加工		※ 施設番号		
常時使用する従業員数	〇〇人		※ 審査結果		
騒音の防止の方法	別紙のとおり。		※ 備考		
特定施設の種類の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
2. 空気圧縮機及び送風機	〇〇型	7.5kw	1	9:00	17:00

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格とすること。

【添付書類】騒音の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

記入例

特定施設使用届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに
法人にあつてはその代表者の氏名

振動規制法第7条第1項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜		※ 整理番号		
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地		※ 受理年月日	年 月 日	
工場又は事業場の事業内容	金属加工		※ 施設番号		
常時使用する従業員数	〇〇人		※ 審査結果		
振動の防止の方法	別紙のとおり。		※ 備考		
特定施設の種類の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
2. 圧縮機	〇〇型	7.5kw	1	9:00	17:00

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】振動の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

(6) 特定施設の数等の変更届出書…様式第3

①提出物（騒音規制法・振動規制法 別々に届けが必要）

各正本・副本2部 計4部（騒音：正副 計2部 振動：正副 計2部）
添付書類【騒音（振動）の防止の方法、工場見取図、特定施設配置図、
特定施設のカタログ】

②添付書類

（4）に同じです。

③届出の必要な場合

☆騒音規制法

- ・新しい種類の特定施設を設置する場合

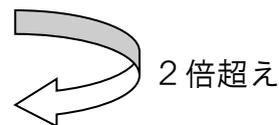
空気圧縮機1基（届出済）→空気圧縮機1基と機械プレス1基を追加
→機械プレス1基について届出が必要

- ・特定施設の種類の数、直近の届出より2倍を超える場合

R7.4 空気圧縮機2基設置（届出必要）

R8.5 空気圧縮機1基設置（届出不要）

R9.7 空気圧縮機2基設置（届出必要）



※施設の減少、入替え等に伴う大型化、工場敷地内の移設については届出の必要はありません。

☆振動規制法

- ・新しい種類の特定施設を設置する場合

- ・特定施設の種類の数が増える場合

- ・特定施設の入替えの際、能力の大きな施設を設置する場合

圧縮機1.5kw2台→圧縮機1.5kw1台と2.0kw1台にする。

→圧縮機2.0kw1台について届出が必要

- ・作業時間の変更で、開始時間を早めたり終了時間を遅くする場合

※施設の減少、同種類同能力機械の入替え、工場敷地内での移設、作業時間の短縮については変更の届出の必要はありません。

③届出日

変更しようとする30日前まで

④その他

別紙 騒音（振動）の防止の方法は（4）と同じです。

記入例

様式第3

特定施設の種類の数変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

住所
届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名
氏名

騒音規制法第8条第1項の規定により、特定施設の種類の数の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜			※ 整 理 番 号				
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地			※ 受 理 年 月 日		年 月 日		
				※ 施 設 番 号				
				※ 審 査 結 果				
				※ 備 考				
特定施設の 種類	型式	公称 能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)
2. 空気圧縮機及び送風機	〇〇型	7.5 kW	1	2	9:00	8:30	17:00	17:30

- 備考 1 特定施設の種類の数に変更がある場合であっても、法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされる場合は、当該特定施設の種類の欄については、記載しないこと。
- 2 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】騒音の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

記入例

様式第3

特定施設の種別及び能力ごとの数
変更届出書
特定施設の使用方法

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

住所
届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名
氏名

振動規制法第8条第1項の規定により、特定施設の種別及び能力ごとの数の変更について、特定施設の使用方法 次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜			※ 整 理 番 号				
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地			※ 受 理 年 月 日		年 月 日		
				※ 施 設 番 号				
				※ 審 査 結 果				
				※ 備 考				
特定施設の 種類	型式	公称 能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)
2. 圧縮機	〇〇型	7.5 kW	1	2	9:00	8:30	17:00	17:30

- 備考 1 特定施設の種別及び能力ごとの数又は特定施設の使用方法に変更がある場合であっても、振動規制法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされる場合は、当該特定施設の種類の欄については、記載しないこと。
- 2 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】振動の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

(7) 騒音（振動）の防止の方法の変更届出書…様式第 4

①提出物（騒音規制法・振動規制法 別々に届けが必要）

各正本・副本 2 部 計 4 部（騒音：正副 計 2 部 振動：正副 計 2 部）
添付書類【騒音（振動）の防止の方法、工場見取図、特定施設配置図、
特定施設のカタログ】

②添付書類

（4）に同じです。

③届出の必要な場合

☆騒音規制法

騒音の防止の方法を変更する場合 消音装置→遮音壁 など

☆振動規制法

振動の防止の方法を変更する場合 防振装置→基礎工事 など

④届出日

変更しようとする 30 日前までに届け出てください。

記入例

様式第4

騒音の防止の方法変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

騒音規制法第8条第1項の規定により、騒音の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地		※ 受理年月日	年 月 日
△ 騒音の防止の方法	変更前	変更後	※ 施設番号	
	別紙のとおり		※ 審査結果	
			※ 備考	

- 備考 1 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。また、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】騒音の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

別紙

騒音の防止の方法

①特定施設の種類	②変更の内容		③発生源での騒音レベル	距離減衰	防音装置等による減衰
	変更前	変更後		④敷地境界までの距離	⑤建物の壁の種類・厚さ
2. 空気圧縮機及び送風機	消音機	遮音塀の設置	1 m 55 dB	30 m	種類：コンクリート 厚さ：50 mm
			m dB	m	種類： 厚さ： mm
			m dB	m	種類： 厚さ： mm
			m dB	m	種類： 厚さ： mm
			m dB	m	種類： 厚さ： mm

注)

①特定施設の種類

設置する特定施設ごとに記入してください。

②変更する内容

騒音の防止を変更する内容を記入してください。

例) 変更前：消音器 変更後：遮音塀の設置、等

③発生源での騒音レベル

カタログ、測定結果等から記入してください。不明の場合は空欄で結構です。

④敷地境界までの距離

設置する特定施設から一番近い敷地境界までの距離を記入してください。

⑤建物の壁の種類・厚さ

工場、事業場の外壁の種類とその厚さを記入してください。

例) コンクリート、モルタル、スレート、トタン、ALC、合成樹脂板、石膏ボード等

記入例

様式第4

振動の防止の方法変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長浜市長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人
にあつてはその代表者の氏名

振動規制法第8条第1項の規定により、振動の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社長浜		※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	長浜市〇〇町〇番地		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
振 動 の 防 止 の 方 法	変 更 前	変 更 後	※ 施 設 番 号	
	別紙のとおり。		※ 審 査 結 果	
			※ 備 考	

- 備考 1 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。また、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【添付書類】振動の防止の方法、附近の見取図、配置図、構造等のわかる資料（カタログ等）

別紙

振動の防止の方法

①特定施設の種類	②変更の内容		③発生源での 振動レベル	距離減衰
	変更前	変更後		④敷地境界までの距離
2. 圧縮機	防振ゴムの取付	防振基礎工事を実施	1 m 55 dB	30 m
			m dB	m
			m dB	m
			m dB	m
			m dB	m

【作成要領】

①特定施設の種類

設置する特定施設ごとに記入してください。

②変更の内容

振動の防止を変更する内容を記入してください。

例) 変更前：防振ゴムの取付 変更後：防振基礎工事を実施、等

③発生源での振動レベル

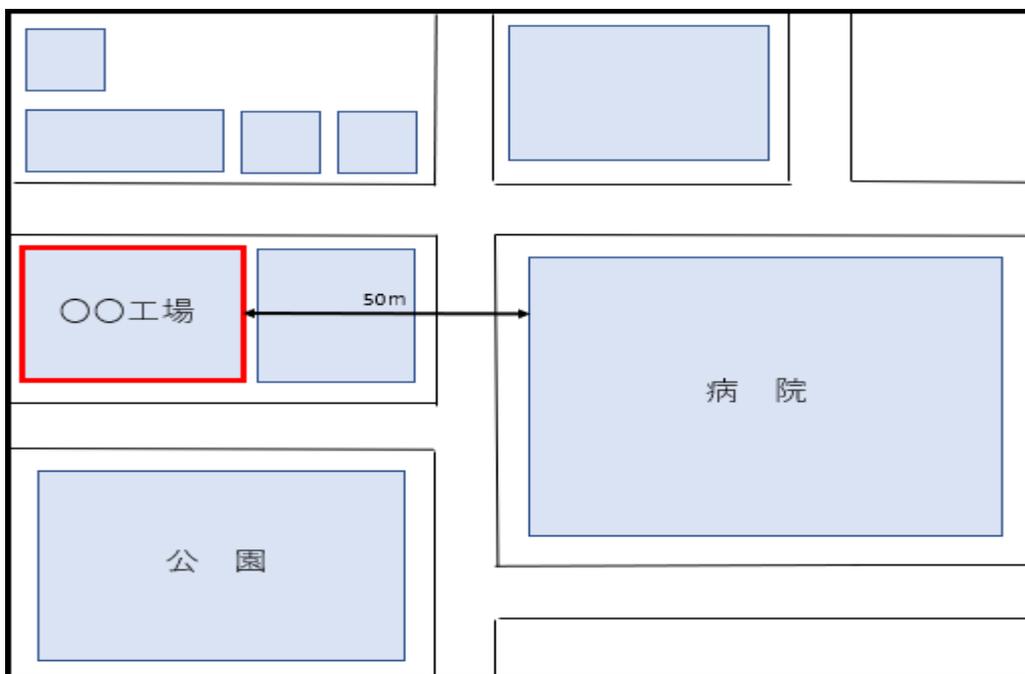
カタログ、測定結果等から記入してください。不明の場合は空欄で結構です。

④敷地境界までの距離

設置する特定施設から一番近い敷地境界までの距離を記入してください。

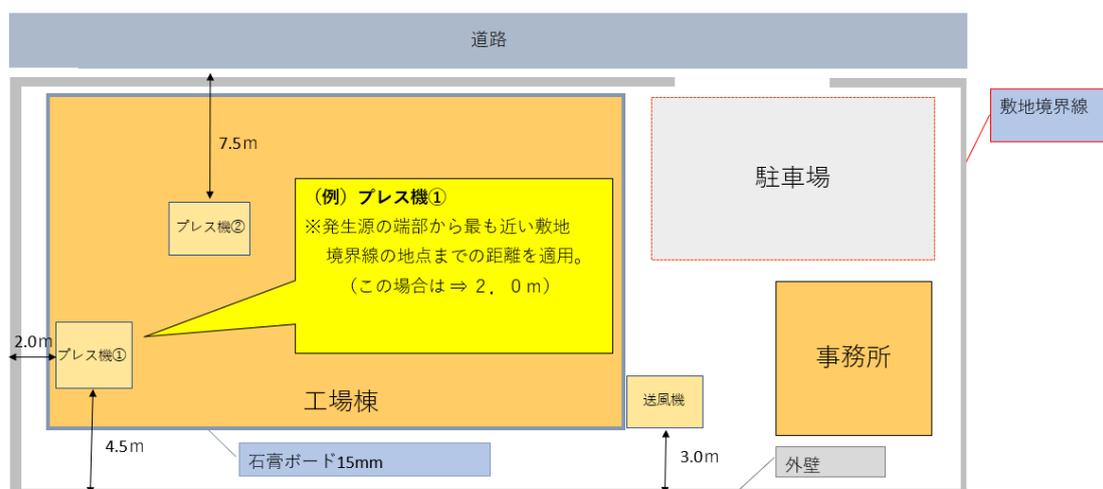
(8) 添付書類について…付近の見取り図、配置図

① 付近の見取り図 (例)



○申請地から50m付近の場所に学校・病院等の施設がある場合は、その施設からの距離を記入してください。

② 配置図 (例)



○届出をする特定施設等の種類・数が照合できるようにしてください。

○特定施設等から敷地境界線までの距離が把握できるように作図してください。